

# HAPEE ハッピーメール MAIL

Hiroshima international Access and Promotion of Economic Exchange

発行：ひろしま産業振興機構 国際ビジネス支援センター  
〒730-0052 広島市中区千田町 3-7-47  
TEL：082-248-1400 FAX：082-242-8628

★ バックナンバーは産振構HP「拠点別レポート」から

【Mail Magazine 知っ得情報】

メルマガでは国、県、市町、産業支援機関等及び産振構の公募イベント助成金情報などのご案内をいち早く皆様にお届け致します（右記のQRコードで閲覧できます。）。  
※ 毎週木曜日配信



（公財）ひろしま産業振興機構発行

## 「皆様に支えられて創業 120 周年」

【賛助会員】 田中食品株式会社

代表取締役社長 田中 茂樹 氏



弊社は明治34年呉市にて創業し、今年4月に120周年を迎える事が出来ました。これも偏に、お取引先様に支えられた賜物と深く感謝致しております。

創業者は私の祖父である田中保太郎であり、家業として漬物・佃煮・味噌を製造し始めたのが最初です。大正時代に入り、当時の陸軍と海軍から持ち運びが容易で日持ちのする食品を要請され、そこで創り出されたのが初代「旅行の友」です。食品開発の背景には、「戦地に行っている身内や子どもたちが栄養不足にならないように…」という、親心の一念があったと聞いております。

つまり、弊社のふりかけは『子を想う親心が生んだ、愛情に満ちあふれた食品』であり、この思いこそが田中食品の原点であります。

これからも、そうした経営理念に基づき、常に新たな食品の創造に挑戦し続けるとともに、時代の要請に敏感に対応していくことで、皆様から信頼され期待される社員づくり、企業づくりを実現して参りたいと考えております。

また、「旅行の友」の商品名の由来には、旅行にふりかけを持参して頂き、世界に広がって欲しい、という想いがあった様です。現在、海外向けの輸出は、まだまだ多くはございませんが、海外からのお引き合いは継続して頂いております。

ひろしま産業振興機構にご指導を頂きながら、広島の商品メーカー様と協業し、微力ながら、世界に向けて広島の商品を広げていける様に挑戦し続けて参りたいと存じます。

### ■ CONTENTS ■

ハッピーメールは、回覧して皆様でお読みください。

巻頭言	「皆様に支えられて創業 120 周年」	田中食品株式会社 代表取締役社長 田中茂樹 氏	1
海外 レポート	ニューヨーク	加速する新型コロナのワクチン接種	2
	ハノイ	ベトナムの最近の動向	3
	ジャカルタ	インドネシア進出失敗の原因を鑑みた進出戦略とは（4）	4
	上海	最新・中国で人気の化粧品・日用品・食品の大型展示会情報	5
	台北	台湾版経団連 第48回東亜経済人会議に参加して	6
お知らせ	ハッピーからのお知らせ		7-8

## 「加速する新型コロナのワクチン接種」

蟬本 睦

### <既に人口の26%が接種終了>

4月21日付のブルームバーグ誌の電子版によれば、米国ではすでに2億1千300万回の接種がなされ、1回目の接種が人口の40%を超え、接種完了が26%に達しました。同報道によれば全米で1日あたり300万回の接種が行われていて、急ピッチでワクチン接種が進んでいることが窺えます。

筆者が暮らすニューヨーク州でもすでに接種対象が16歳以上に拡大されており、多くの人々が接種しています。

接種会場は大きく分けて、1)州政府などが設けた公設の接種会場(展示会場や公民館、州立大学などが充てられています)、2)民間の病院、クリニック、アーjentケアと呼ばれる簡易診療所、3)ドラッグストアなどの薬局、と3つに分かれます。

それぞれ電話、多くはオンラインで予約を行います。

### <筆者も2回の接種完了>

筆者もファイザー製のワクチンの接種を2回うけることが出来ました。筆者の場合は公設の会場を選択、予約はオンラインで行いましたが、なかなか予約が取れませんでした。まるで、ゲームをやっているかのような感じで、空きが出たら瞬時に埋まる前にクリックするという早業が要求されるようなものでしたが、1時間ほどクリックを繰り返しようやく1回目の予約を取得し、接種しました。1回目は筋肉注射特有なのか腕の痛みが2日ほど感じたぐらいで他に体調の変化はありませんでしたが、2回目の接種後は翌日に頭痛、倦怠感、発熱とよく言われる副反応がありました。アドバイスをもらっていた鎮痛剤を服用し一晩寝たところ、すっかり副反応は消えましたが、筆者の周りでも3-5日ほど発熱が続いたなどの例もあり、反応はまちまちのようです。

### <看護師や薬剤師も注射>

アメリカではもとより規制緩和が進んでおり、インフルエンザの予防接種も病院というよりは、ドラッグストアで薬剤師に打ってもらうというスタイルも定着していました。コロナの予防接種にあたっては、ウォルグリーンやCVSといった大手ドラッグストアなどでイン

フルエンザ同様、薬剤師による注射も行われています。また公設会場やクリニックなどでも、看護師による接種が進められているケースが多く、これも接種が急ピッチに進む要因の一つではないかと考えています。

また、ニューヨークタイムズ紙の4月21日付電子版によれば、これまで累計3100万件以上の陽性者が確認され、約56万人が亡くなっています。こういったこれまでの被害の大きさも人々が予防接種を進んで受ける要因にもなっているのではないかと考えます。

### <3月の雇用状況が改善>

4月2日、労働省統計局は非農業部門の雇用が前月比91万6千人のプラスで、失業率も6%に改善したと発表しました。

ワクチン接種の進行が好感し、レジャー、外食などホスピタリティ、建設部門の改善が牽引しているということです。失業率は、昨年の4月に15%を記録、その後少しずつ改善し、ようやく6%までできました。コロナ前は4%前後だったのでまだまだですが、ここ米国では急ピッチで進むワクチン接種を受けて、景況感が改善してきている、そう感じる4月の雇用状況の発表となりました。今後の一層の改善が望まれます。



【ワクチン接種会場、ニューヨーク郊外のウェストチェスター郡のカウンティセンター】

## 「ベトナムの最近の動向」

中川 良一

## ＜当期最後の国会＞

3月24日～4月8日の間にベトナムの国会が開かれました。これは当期（第14期）の最後の国会でしたが、今国会では新任の国会議長、国家主席、首相などの国家首脳が非公開投票により選任されました。これにより国会及び政府の首脳人事は、次のとおり刷新されました。

- Vuong Dinh Hue（ヴオン・ディン・フエ）ハノイ共産党前書記が国会議長に就任。
- Nguyen Xuan Phuc（グエン・スアン・フック）前首相が国家主席に就任。
- Pham Minh Chinh（ファム・ミン・チン）政治局員が首相に就任。

国会は新任副首相2名（現役副首相3名と合わせて計5名の副首相体制）及び12省の新任大臣の任命を批准しました。大臣クラスのうち、内務大臣及び国家銀行総裁は女性で閣僚の最年長者は66歳、最年少者は45歳となっています。

## ＜企業による景況感＞

経済面では、ベトナム統計総局の発表によると、本年の第1四半期の主な経済指標はいずれも景気回復の傾向を見せています。主な経済指標は次のとおりです（出所：ベトナム統計総局）。

- GDP伸び率（前年同期比）4.48%（2020年のGDP伸び率2.9%）
- 経済セクター別の伸び率：工業・建設業6.3%、サービス業3.34%、農林水産業3.16%
- 小売及び消費サービスの総売上高は前年同期比5.1%増、輸出額は773.4億ドル（前年同期比22%増）、輸入額753.1億ドル（前年同期比26.3%増）。輸出入とも二桁の伸び率を見せています。

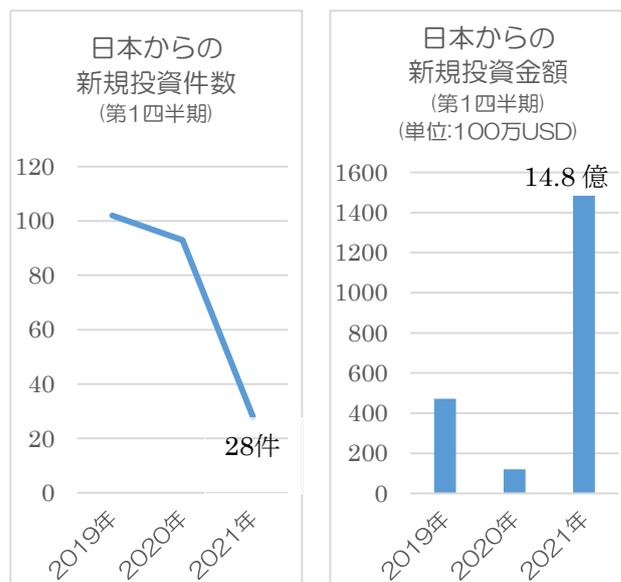
企業による景況感については、多くの企業（製造業）の見方が楽観的です。2020年第4四半期に比べて生産がよくなったと答えた企業の比率68.6%（より悪かったと答えた企業の比率31.4%）であり、良くなった企業が3分の2を占めています。

また、2021年第2四半期が同年第1四半期に比べて景気がよくなると答えた企業の比率85.1%（悪くなると答えた企業の比率14.9%）と、本年の景気先行きも明るいものとなっています。

## ＜日本からの投資＞

2021年3月20日までの第1四半期の外国投資額は101.3億ドル（前年同期比18.5%増）となっています。この外国投資額には、新規直接投資（234件/72億ドル）及び既存投資案件の増資（161件/増資額21億ドル）が含まれています。残りの8億ドル強は、株式取得による投資形態（M&A）です。

新規直接投資の上位国はシンガポール（42.8億ドル）、日本（14.8億ドル）、中国（5.5億ドル）、香港（2.4億ドル）、韓国（1.9億ドル）、米国（1.5億ドル）の順となっています。日本からの投資は、そのほとんどは第2オ・モン火力発電所プロジェクト（登録資本13.1億ドル）が占めており、このオ・モン・プロジェクトを除く残り27件の投資額は1.7億ドルと投資規模的にも小さくなっています。過去2年間の日本からの新規投資を比較すると下記の表のようになります。



他国による同期間の大型投資は、韓国LGが増資による追加投資で液晶パネル生産の拡大7.5億ドル、中国企業によるラジアルタイヤ製造工場への拡大増資3.12億ドル等となっています。

日本からの新規投資は、2019年との比較で、件数では約4分の1と急減していますが、新型コロナウイルスの感染拡大の第四波が早期に収束し、ベトナムへの投資が再開されることを期待しています。

## 「インドネシア進出失敗の原因を鑑みた進出戦略とは（４）」 中川 智明

シリーズで、日本企業の進出失敗事例について紹介しています。第1回（2020年11月号）では「気づかないうちに上から目線になる」、「日本のやり方を現地に持ち込もうとする」ことで上手くいかなくなる2つのケースをご紹介しました。第2回（2021年1月号）では「インドネシアではどう振る舞うべきか」をお伝えしました。第3回（2021年3月号）では、実際に日本企業のインドネシア進出から撤退までの過程に沿って、「情報収集、進出決定、人事」の観点から、これまで私が見てきた日本企業の失敗と、どうするべきであったかをお伝えしました。

今回は「進出時の事前調査」についてお伝えします。

### ＜インドネシア進出時の事前調査＞

#### 【失敗する企業】

- ・担当役員に忖度した進出ありきの計画のため、適切な調査を基礎とした計画ではない。
- ・忖度したバラ色の進出計画を作成するのに、コストをかけて調査する必要はないと考えている。
- ・事前の十分な調査は、進出後に事業で優位性を生むことを理解していない。

#### 【あるべき姿】

- ・バラ色の進出計画は、会社設立の段階ですでに現実と乖離することを知っている。
- ・事前調査にかかるコストは、機会を逃がすコストや進出後に撤退するコストに比べて非常に小さく、また、十分な調査は全体のコストパフォーマンスを高めることを知っている。

これまで私は大手監査法人時代も含め 10年以上インドネシアへ進出する日本企業や、その失敗も見てきましたが、失敗する一番の要因は事前調査や計画の段階にあると思います。

多くの事例では、会社の命運を左右する海外進出であるにもかかわらず、海外進出担当の役員に一任されます。当該役員は自分の仕事を作るために、無理にでも海外進出をする傾向があります。そのため、その部下が作成する進出後の計画は、上司の思いを忖度したものになりま

す。この時点で、進出先の海外でビジネス展開が効果的にできるようにするためではなく、社内承認を得るための内向きな目的に基づき進められることとなります。このような背景では、客観的な調査等の結果は反映されず（調査結果は必ずしも都合の良いものばかりではありません）、実態から乖離したものになりがちです。

事前調査が不十分なまま進出するので「物価水準が低いから、人件費も何でも安いだろう」とか、「（インドネシアの状況を知らずに）法令や行政手続きのコストは日本と同じ程度だろう」といった認識になると思われます。進出後に様々なトラブルに直面するまでこの認識は改められることがなく、トラブルに直面して改める時には、大きな損失を生んでいるのです。損失によって生じるコストを鑑みれば、事前にある程度の調査費用を負担しても、コスト上のメリットは十分あると思われます。

次回にお話しするテーマの「進出計画が不十分」といったことも、事前調査を行わない原因になっていると思われます。将来の収益見込みの調査をベースにした計画がしっかりとしていれば、進出に必要なコストもある程度合理的に算出して負担できると思われます。この点でも、客観的な調査に準じた進出計画がないために、コスト負担も合理的に判断できないのだと思われます。

次回は2021年7月号につづきます。



【ジャカルタ中心のオフィス街】

PSBB（インドネシアの行動制限）で道端の露店や座り込む人々はいなくなり、悲しくなるほどきれいすぎる街路

## 「最新・中国で人気の化粧品・日用品・食品の大型展示会情報」

洲澤 輝

中国の大型展示会は、昨年新型コロナウイルスの感染拡大の影響により1月から7月までに予定されていたものは、ほとんど延期もしくは中止となりました。夏以降、中国国内の状況は徐々に落ち着きを取り戻したため、展示会も徐々に開催されるようになりました。しかし現在でも、展示会場に入るには、事前の運営側への個人情報の提供や、会場入口の体温検査、会場内のマスク着用が義務づけられています。

## ＜業務用の食品展示会を視察＞

3月29日～4月1日の間、上海のコンベンションセンターの国家会展中心で開催された上海国際酒店及餐飲業博覧会（HOTELEX Shanghai）を視察しました。同展示会は、中国東部の華東地区で最大級の業務用の食品展示会と言われています。今回は40万平方メートルのエリアに3千以上の企業が参加し、16万人以上のバイヤーが来場しました。会場には、日本から参加した企業数が少なく、ほとんどが中国企業でした。それでも現地に拠点やパートナーを持つ日本企業は、自社ブースで来場者に向けて商品のPRをしていました。また、今回特に印象的だったのが、コーヒーの出展企業数の多さです。コーヒーメーカーを始め、代理店やカフェチェーン店などが多数出展しており、展示会場1館全てがコーヒー関連企業で埋まっていました。国際コーヒー機関の統計によると、コーヒー消費量の伸びが世界平均年2%のところ、中国は年15%を上回り、市場は3千億元（約5兆円）と言われ、近い将来に1兆円（約16兆円）に拡大する見込みと言われています。



【上海国際酒店及餐飲業博覧会のカフェブース】  
Mellow Coffee(メロワーコーヒー/麦隆咖啡)は2011年に昆明で創業した人気のカフェチェーンです。

## ＜広州交易会は今春もオンラインで開催＞

広州交易会は、昨年に引き続き今春の4月15～24日の間、オンライン開催となりました。

広州交易会（中国輸出入商品交易会）とは、毎年春と秋に2回開催されており、商務部と広東省人民政府が共同で主催し、中国対外貿易センターが運営する大規模な展示会です。中国で開催される展示会の中で開催歴が一番長く、開催規模の大きさ、商品種類の豊富さも一番だと言われています。そんな広州交易会ですが、昨年は新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受け、2回ともオンラインでの開催となりました。2020年秋季（第128回）のオンライン開催での状況は、約2万6,000社が出展し、226カ国・地域から延べ5,117万回のアクセスがありました。

## ＜化粧品・日用品・食品分野の展示会開催情報＞

5月以降で、開催予定の人気の化粧品・日用品・食品分野の大型展示会情報をまとめました。

	展示会名
5月	CBE(China Beauty Expo/中国美容博覧会) 2021 【化粧品】: 5/12~14
	SIAL China 2021(中国国際食品和飲料展覧会) 【食品・飲料】: 5/18~20
7月	CBME(Children Baby Maternity Expo/中国孕婴童展・童装展)China 2021 【子供用食品・日用品】: 7/14~16
8月	World Seafood Shanghai (SIFSE) 2021(第16回上海国際漁業博覧会) 【食品】: 8/25~27
11月	CIIE(China international Import Expo/第4回中国国際輸入博覧会)2021 【日用品、食品、化粧品】: 11/5~10
	FHC(Food & Hospitality/上海環球食品展)China 2021 【食品】: 11/9~11

各公式ウェブサイトによると、現時点では予定通り開催されることが分かりました。展示会によっては現在出展企業を募集しており、出展に興味がある場合は、早めの出展手続きをお勧めします。

広島上海事務所では、中国への海外展開や現地の販路開拓支援を行っています。その他、上海に限らず中国で開催される様々な分野の展示会情報など、知りたい情報があれば、お気軽にご連絡ください。

## 「台湾版経団連 第48回東亜経済人会議に参加して」

歐 元韻

さる3月29日に開催された第48回東亜経済人会議に参加しました。東亜経済人会議とは、1973年から始まった日本と台湾の経済団体が開催する二国間経済会議で、日本を代表する日本経済団体連合会と台湾を代表する経済団体(中華民国工商協進会、中華民国東亜経済協会等)のトップ同士が、毎年日台交互で開催し、双方の経済状況、アジア地域経済、各産業分野の協力体制をテーマに、活発な意見交換を行います。2019年12月に開催された前回の第47回会議では、広島県から関係者が参加し、広島県の魅力のPRを行いました。今回は新型コロナウイルス感染防止のため、初めてのオンライン開催となり、日本側の会場では約90名、台湾側の会場では、約200名が参加しました。

弊社は例年、日本からの会議参加者に同行しゲストとして参加していました。今回は初めて、会員企業の一員として参加しました。この機会に広島県の皆様方とも当日の会議内容を情報共有できればと思います。



【第48回東亜経済人会議の様子】

### ＜議題1：日台双方の経済情勢＞

IMF(国際通貨基金)の4月時点での発表によると、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、日本の2020年の実質GDPは2019年と比べてマイナス4.8%でしたが、台湾では3.1%の増加でした。2021年の経済成長率は、前年比で日本は3.3%、台湾は4.7%の、共にプラス成長との予測です。台湾はウィズコロナ時代での内需及び輸出拡大による明るい数字が示されています。

### ＜議題2：日台間での産業協力 - 半導体分野＞

三井物産エグゼクティブ・リサーチ・フェローの中湊晃氏によると、グローバルビジネスが直面する3つの課題、①新型コロナウイルス ②米中対立③気候変動問題は、日本と台湾でも

共通しており、医療・観光・半導体・DX・脱炭素・防災等は、日台双方で協力可能な産業分野であるとのこと。

半導体業界については、台湾政府でも「2030年には台湾での半導体生産額を2019年との対比で約2倍(日本円の約10兆円から19兆円)にする」目標を掲げており、それに伴いTSMC(台湾セミコンダクター・マニュファクチャリング)社は、巨額の設備投資を計画、激しい人材争奪戦も繰り広げています。IC製造のコアである製造装置及び材料分野で強みを持つ日系企業こそ、台湾はもちろん、世界の半導体産業の発展に中心的役割を果たす存在として多に期待されています。

### ＜議題3：日台間での産業協力 - 医療分野＞

台湾のIT担当大臣の唐鳳(オードリー・タン)氏は、オープングレセプションで台湾のマスク配布箇所を知らせる地図システムを紹介しました。新型コロナウイルス感染者の発生後、台湾ではいち早く対策をとったため、現時点(2021年4月)での感染者数は1,057名にとどまり、台湾域内の経済活動が活発に営まれています。ただし、世界各国で進むワクチンの開発及び接種は、いまだ積極的には行われておらず、台湾の今後の最重要課題です。台湾国産ワクチンの開発に取り組む「国光生物科技」社の代表者は、1970年より日本と連携してワクチンの開発並びに製造に取り組んできたことを紹介し、今後も日本と協力してグローバル市場の開発、開拓を進める機会は多くなる、と意欲的に語りました。

### ＜議題4：日台間での産業協力 - グリーン分野＞

脱炭素産業の分野で、台湾政府は、2025年迄に原発ゼロを実現し、再生可能エネルギーによる発電量比率を20%に引き上げる方針を打ち出しています。今後、CO2削減には絶対に必要な取り組みとして、台湾での洋上風力発電事業等は、特に力を入れて取り組んでいます。実際、2019年には中国電力(株)と(株)中電工が事業への出資参画を発表しました。

今後、広島企業と台湾産業界とのコラボレーションがより加速し、関係強化が図られることに期待せずにはいられない今回の参加でした。

# ハッピーからのお知らせ

## 令和3年度「国際取引実務研修」開催案内

貿易業務の初任者やこれから習得される方を対象に、貿易実務の基本体系の解説と、輸出入における重要なルールなど、実践的で広範囲な実力を養う基礎研修（入門編・基礎知識編）を開催します。また、日米貿易協定の概要解説、自己証明による原産地証明書の作成演習などの「通関編」も併せて開催します。

※「入門編」と「基礎知識編」は、新型コロナウイルス感染防止対策のため、オンラインライブ配信形式で実施します。

※「通関編」については、研修会場での実施を予定しておりますが、状況により、ZOOMによるオンラインライブ配信講座に切り替える場合があります。会場では必要な新型コロナウイルス感染防止対策を講じて実施します。

### ● 開催日時・場所

各日9時30分から16時30分まで（昼休憩12時30分から13時30分）、1日6時間

講座名	日 程	実施方法・開催場所
入 門 編	① 5月18日（火）、② 5月19日（水）	ZOOMによる オンラインライブ配信講座
基礎知識編	① 6月8日（火）、② 6月9日（水）	
通 関 編	① 広島会場 9月1日（水）	広島県情報プラザ2階「第一研修室」
	② 福山会場 9月2日（木）	福山商工会議所9階「会議室」

※ 入門編と基礎知識編はセット受講となります。

### ● 申込方法

ひろしま産業振興機構／福山商工会議所のセミナーサイト、又は、記載しているリンク／QRコードのオンラインフォームからお一人ずつお申し込みください。

【申込フォーム】 <http://ws.formzu.net/dist/S2219413>

### ● 申込期限

5月7日（金） ※通関編のみ受講の場合は8月20日（金）



## 商談スキルアップセミナー

（商談成約につなげるためのヒントと極意！）

Fine Food & Sake in Hiroshima

（食品・酒類バイヤー商談会 in 広島）事業

リアル・オンライン・国内・海外、あらゆる商談場面において、バイヤーに伝わる商談プレゼンテーションスキルと効果的なPR資料づくり・動画活用法を2回シリーズでお伝えします。

### 【開催日程】

「第1回：伝わる商談プレゼンテーションスキル」

● 日 時：令和3年7月13日（火）14時から15時30分まで

「第2回：効果的な資料づくりと動画の活用法」

● 日 時：令和3年7月27日（火）14時から15時30分まで

### 【講 師】

KM International Trading & Consulting 代表 中正宏氏

### 【参加費】

無料

### 【開催方法】

ZOOMミーティングによるオンラインライブ配信

### 【対 象】

広島県内の食品・飲料、消費財関連事業者（FFSH参加予定の広島広域都市圏事業者を含む。）

### 【申込方法】

利用条件等の確認をいただき、産振構セミナーサイトまたはQRコードのオンライン申込フォームにて、お一人ずつお申し込みください。

### 【主 催】

ひろしま産業振興機構、広島市、Agri & Foods Export Frontier, Hiroshima

### 【お問合先】

ひろしま産業振興機構国際ビジネス支援センター

電話：082-248-1400 メール：[s-kokusai@hiwave.or.jp](mailto:s-kokusai@hiwave.or.jp)



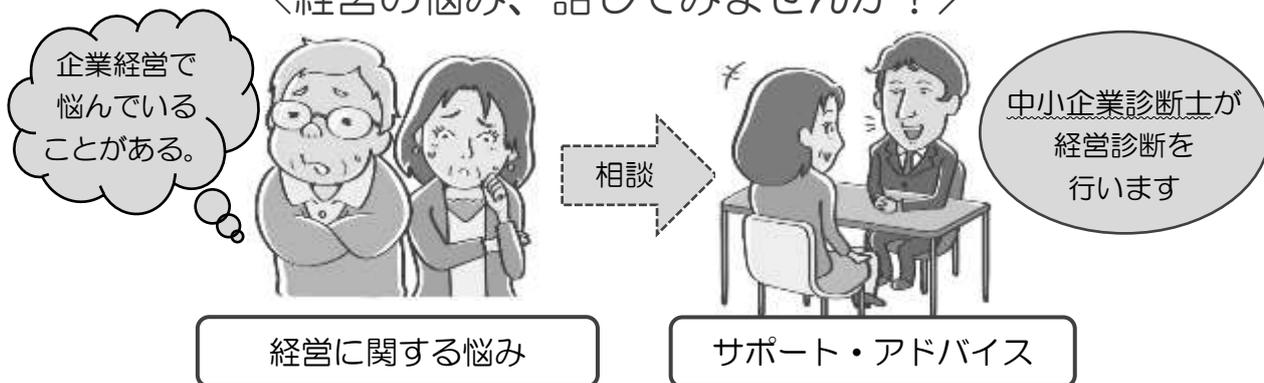
ひろしま産振構 セミナー

＼広島県信用保証協会をご利用のみなさまへ／

# 経営診断 メニューのご案内

無料

＼経営の悩み、話してみませんか？／



1

## 企業経営改善サポート（しっかりサポート）

●当協会をご利用の方

経営診断（4日間）



2

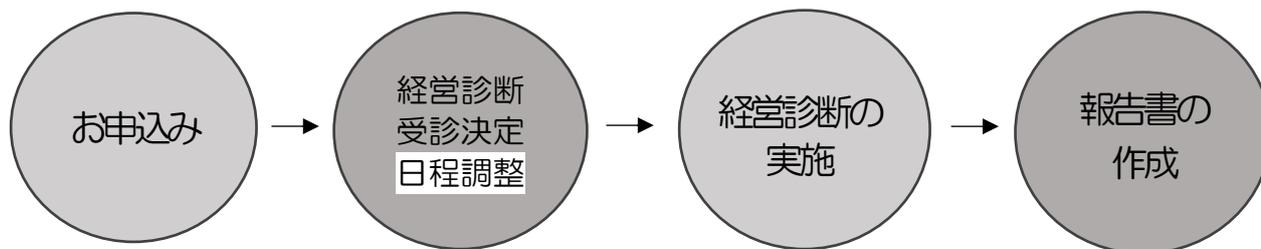
## 創業サポート（ワンポイントアドバイス）

●当協会の創業保証をご利用後3年以内の方

経営診断（1日間）



### 【 経営診断の流れ 】



お申込み・お問い合わせ先

 **広島県信用保証協会**  
HIROSHIMA GUARANTEE

**082-222-8406**

（創業・経営支援課）



（協会HP）